



【今週の暗唱聖句】ノアは、正しい人であって、その時代にあっても、全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。創世記 6:9

●「その時代にあって」とはどんなにまわりが墮落してしまってもノアが主を第一にし、自分も家族も世に染まることを拒み続けた、ということです。もちろん「主に従い続ける」という本人のなみなみならぬ決心もあったはずですが、人間、そんなに強いものではありません。彼がそのような歩みをするのできた理由は彼が常に「神とともに歩んだ」からなのです。●「神とともに歩む」とは毎日起きたら主の前に出て、主への信頼と献身とを表明し昼も夜もその教えを反すうしつつ、

どんなことをしていようと常に神との対話を絶やさないで過ごすことです。そのように神に信頼し、神に従う人を聖書では「全き人」と呼びますが、神はことさら、このような態度を喜ばれ惜しみなく守りを与えてくださるものなのです。●私たちのまわりの環境は年を追うごとに暴力と欲望の渦にますます深く落ち込んで行っています。しかしこのような状況にあっても私たちは聖霊をいただき、励まし合う信仰の友が与えられており、神は「最後まで忠実に歩むこと」を求めておられます。

【ノアの箱舟の史実性の考察】

●創世記 6:15-16 それを次のようにして造りなさい。

箱舟の長さは三百キュビト。その幅は五十キュビト。

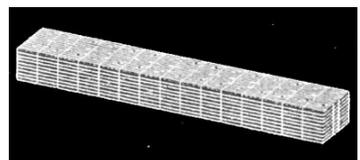
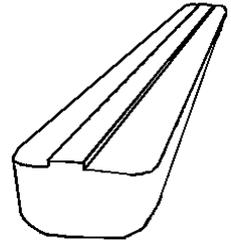
その高さは三十キュビト。箱舟に天窓を作り、上部から一キュビト以内にそれを仕上げなさい。また、箱舟

の戸口をその側面に設け、一階と二階と三階にそれを

作りなさい。／創世記で使われている一キュビトは恐らく44cmくらいと考

えられている。すると箱舟の寸法は長さ132m×幅22m×高さ13.2mとなる。

子供の絵本に出てくる箱舟とはずいぶん異なった形であるが、驚くなかれ、この寸法比と酷似するのが今日の小型タンカーである。タンカーの務めはスピード以上にどのような天候においても安定性を保ち、積み荷が絶対に失われぬことにある。今日の多くの船は速度と操作性を向上させるためにある程度、安定性を犠牲にする。嵐よりも早ければ良いわけである。箱舟にはエンジンはないし舵も必要なかった。大きさにしても、マンハッタン of 自然史博物館の正面入口に入った所の恐竜たちもいとも簡単に入ってしまうサイズであった。全ての動物の種類とあるが、後にどのように多様化しようと、基本的に「原種」さえ載せることができればよかったわけであったので十分なサイズであった。■



【先週のMESSAGEより】

受け継がれた罪／カインとアベル 創世記4章

●どんな世の中になってしまったか。／アダムゆえに土地がのろわれて以来、人類は試行錯誤をしながらこの地上で生きて来たが、その途上で環境を破壊していくことが聖書の最初の数ページにすでに予告されている。人間はかけ算で言えばゼロをかけることに等しい「死」を迎え、「空の空」という空しさと絶望の中で生きている。●カインもアダムも礼拝を親から学んだが・・・／結局礼拝は私と神との関係であり、強制されてすることでない。アベルが神を心からあがめ、感謝していたことは彼の礼拝の仕方によって知ることができる。彼は礼拝を自分の生き方として選んでいた。一方カインは神を心から礼拝することを選ばず、形ばかりの礼拝で済まそうとした。それゆえ彼は神に受け入れてもらえなかった。●プライドと自己正当化／神はこの時もカインに積極的に語りかけ、悔い改めのチャンスを提供されたが、彼はご免なさいの一言が言えなかった。この時に「助けてください！」と祈ることの大切さは強調してもしきれない。彼は兄弟殺しとなった。●放浪者カイン／自慢であったはずの作物作りをもはや負われ放浪者となった。■

【この教会のビジョン(7)】

※ 駐在員の多い地域に置かれた教会として、ミッション・チャーチ(人々をこの地で訓練し、新たな地に派遣する教会)の使命を果たして行く。

●どのような教会も所在地がどこであるかによって来る人の層が決まってくる。大学のそばであるなら学生が多く、入れ替わりは当然激しい。過疎の進む日本の地方教会では若者はおらず、ドーナツ化した都心の教会は残された高齢者が圧倒的かも知れない。教会のビジョンも当然、主が送ってくださる人々に基づく。

●私たちのグリニッチ教会も置かれている地域の特殊性ゆえに3-5年のサイクルで人々が入れ替わって

く。それは嘆くことではなく、それだけ大勢の人々に福音をお渡しし、彼らを派遣することができる、という特権と考えるべきなのである。

●私たちは聖研小グループに力を入れているが、そこで共に聖書を学ぶ楽しさと意義を経験し、共に祈ることを体験し、聖研の司会をしたり、グループをまとめる役割なども体験する中で、日本に帰ってからもそのような働きを進めて行ける人になるようお願い、祈って行きたい。

【今週の英語】

The greatest problem we face is not unanswered prayer but unoffered prayer. 「我々が直面する最大の問題は答えてもらえなかった祈りではなく、ささげられなかった祈りである。」

God prefers FRUIT OF THE SPIRIT over RELIGIOUS NUTS.

「神は宗教に凝り固まった人(nuts)ではなく、御霊の実を好まれる。」■